

2018年11月 幾代会 まとめ

日 時	2018. 11. 4	10:00～16:00
天 気	曇り一時雨	最高気温16度
散策 場所	多摩森林科学園	多摩御陵
散策コース	高尾駅～多摩森林科学園(森の科学館～第二樹木園～森の管理室休憩所(昼食)～森の科学館見学)～多摩御陵～高尾駅	
参 加 者	羽深さん、岡さん、木村さん、中部さん、越前(記録)の5名	

下見参加者 木村さん、中部さん、越前の3名

11月の幾代会の観察場所・多摩森林科学園はサクラ保存林として有名ですが、年間を通じて手軽に森を楽しめます。植物の名板や昆虫スポット、野鳥観察ポイントが充実していて自然観察にはもってこいの場所です。今月は参加者が5名と少なめだったので案内板と実物を見ながらアットホームに自由な散策を楽しみました。11時ごろから思いも寄らぬ雨がポツリポツリと降り出し、早めのお昼。とにかく食べなきゃね。屋根の 有る森の科学館に戻り展示を見ながらチョット勉強。雨が止んだので近くの武蔵野陵墓地(通称多摩御陵)を散策してきました。とにかく広～～くて綺麗に整備されています。事に墓地正門から表参道沿いに植えられた北山杉は20mにも達し整然と並んだ様子は荘厳な雰囲気です。陵の前には皇族拝所が有り下がった場所に一般拝所が有り何れにも木製の立派な鳥居が有りました。そうねと思いました。下見と本番の両方に参加して貰った木村さん、中部さん、ありがとうございました。11月の幾代会の簡単なまとめでした。越前記



御一行さま 武蔵野陵墓地の北山杉を観察(木村さん撮影)

NO.	種名・科・属	写 真	特徴及び感想
1	ヤマシバカエデ (チドリノキ) ムクロジ科 カエデ属		森の科学館を出て第二樹木園に入った園路沿いに側脈が目立つチドリノキを見つけた。看板を見たらヤマシバカエデと記入有り。材を薪に出来るのでヤマシバカエデ。カエデ属だが単葉の葉。
2	ヘラノキシナノキ科 シナノキ属		昭和記念公園では以前、同属のオオバボダイジュやボダイジュを観察した。本種と同じようなヘラ状の総苞片があった。シナノキ科の果実は総苞片のプロペラに乗って風で遠くに飛ばされる。
3	カンレンボク ヌマミズキ科 カンレンボク属		沢山のカンレンボクの黄色の実が落ちていました。原産地は中国中南部の落葉高木なので公園等で見ることが出来ます。幾代会では新宿御苑に行った時に大木をみました。ボールのような形で面白いのですが、一つ一つはバナナのような形で拾うとポロポロと外れリース等には使えません
4	ウバユリ ユリ科 ユリ属		果実が割れ中から薄ぺらな種が覗いていた。以前の幾代会で種の数調べて貰ったら500個前後、入っていました。園路から離れた沢沿いの湿った場所に果実のみが残っていました。
5	モミジガサ キク科 コウモリソウ属		良く似たヤブレ傘より花季が9月頃と遅く、葉に艶が有り切れ込みが浅いので区別が出来る。若葉は山菜として食べられる。

NO.	種名・科・属	写 真	特徴及び感想
6	オオバクロモジ クスノキ科 クロモジ属		クロモジの変種。葉は名前の通りクロモジより大形で長さ約13cm。調べてもそれ以外の違いはありません。東北 地方以南の日本海側に分布なので西多摩では見かけないようです。
7	ヤブコウジ ヤブコウジ科 ヤブコウジ属		初冬を迎えると雑木林で赤い実が目立ちます。高さは20cm前後と小さいのですが、列記とした木本です。ヤブコウジは縁起物として10両です。同じく赤い実を付けるミヤマシキミは億両だ御岳のビジターの片柳さんより伺いました。一、十、百、千、万、そして億まで有るとは驚きでした。
8	シナアブラギリ トウダイグサ科 アブラギリ属		中国原産の落葉高木。ピンポン玉位の果実がぶら下がっていた。フィールドでは余り見かけない。
9	トキワサンザシ バラ科 トキワサンザシ属		別名ピラカンサ。鳥に食べられず園内で赤い実が目立った。実が綺麗で丈夫なので庭木として植栽されるが棘があるので要注意。
10	オオセンナリ ナス科 オオセンナリ属		多摩御陵への道のコンクリートの割れ目から草丈が50cm位の薄青い花が目立った。何処からか飛んできた種が発芽し花をつけた。この頃見かけるようになったが南アメリカ原産の帰化種で果実の形がホオズキの様に面白い。

NO.	種名・科・属	写 真	特徴及び感想
11	ナツメクロウメ モドキ科 ナツ メ属		<p>2c位の完熟した実がぶら下がっていた。幾代会の宇津木さんはジャムやドライフルーツに加工される。今年も出来たかな～～。</p>
12	多摩御陵		<p>多摩御陵の入り口に池が有り、周りにモミジが植栽されて日本庭園の様でした。紅葉しだして綺麗。参拝路には 玉砂利が敷き詰められて静寂の雰囲気。</p>
13	ヒノキ ヒノキ科 ヒノキ属		<p>多摩御陵の参拝路にヒノキや杉が整然と見事に植栽されていた。眼の高さに多数のヒノキの果実がぶら下がっていた。サッカーボールのような実は人間は食べられないがキジバトは食用にする。</p>
14	メタセコイア ヒ ノキ科 メタセ コイア属		<p>多摩御陵にはイチョウやメタセコイも植栽され、少し色づき始めた本種には多数の雄花がぶら下がっていた。</p>
15	ヤブムラサキ クマツヅラ科 ムラサキシキ ブ属		<p>昭和天皇、大正天皇の陵を参拝した 帰路にヤブムラサキが5mmぐらいの球形のムラサキの実を付けていた。実を包む萼片や枝に密生した多数の毛が有る。梅の公園や雑木林で良く見かける。</p>